

ガバナーメッセージ





Mutual Trust  
奉仕の感動を分かち合おう。

## 絆の萌芽（めばえ）

ロータリーが第2世紀に入り2年目の胎動が始まりました。  
第2650地区96クラブにおかれましても、四大奉仕を基本に  
CLPを通じて奉仕と親睦に集中し、充実したクラブ活動をすすめていただきたいと存じます。  
詳細につきましては公式訪問で直接皆様とお目にかかったり、この月信や2650地区の  
ホームページなどで順次情報をお伝えしてまいりますので、活動の指針としてお役立て  
いただければ幸甚に存じます。

2006～07のRI会長のテーマはご承知のように『LEAD THE WAY——率先しよう』です。  
このテーマをもとに私たちロータリアン同士がより絆を強くし、身近なひとたちとそして  
世界の人々と絆を深めてこそ効果的なクラブ運営ができるとの思いから、  
地区テーマを『絆——奉仕の感動を分かち合おう』とさせていただきます。

絆——きずな、きづなと呼ぶように語源には繋ぐ、繋がるという意味が含まれています。  
友との絆、夫婦の絆など程度の差はあれ、絆には結束の要素が伴います。  
何の結束もなく、個人個人の都合や利益が最優先する中では絆は生まれません。  
耐震偽装や子供に対する殺人、暴行、マネーゲーム……絆がないがゆえの痛ましく、  
嘆かわしいニュースを毎日耳にしなければなりません。  
今の世の中、この大切な絆をどこかに置き忘れてきた感があります。

たとえば、家族の絆や親子の絆がしっかりしていれば、子供が朝、学校へ出かける時、  
そっと肩に手をやり「いってらっしゃい」のひと言で全てが通じます。  
子供が非行に走るなど決してないでしょう。  
人と人の繋がり、人と人の絆は世の中で一番あたたかいものであるはずです。  
私たちの日常生活の中に、絆が意識づけられれば世の中も変わってゆくことでしょう。

ロータリー活動におきましては、一世紀前に地域を代表する者同士が力を合わせて  
より良き地域づくりをめざした精神を、今一度心に刻み、家族との絆、友との絆、  
地域のNPOをはじめ各団体との絆を築き、青少年、子どもたちをも含めて一つのテーマに  
一緒に挑戦できる機会をつくりましょう。プロジェクトを共にやり遂げ、感動が生まれ、  
その感動を分かち合い、さらに深い絆が生まれます。  
ぜひとも各クラブにおかれましては、感動を得られる奉仕活動を企画し、  
率先実行していただきますようお願いいたします。

ロータリーはステータスです。そして、ボイドRI会長がおっしゃるように  
私たちは地球村のリーダーです。ロータリアン同士の絆を強く、まず身近かなところから。  
2650地区のロータリアンの絆の輪は、街に地域に、そして世界に。  
LEAD THE WAY 一年間共にがんばりましょう。

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井義久